



|   |                         |
|---|-------------------------|
| 教 | 「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」     |
| 育 | ・自ら学び工夫する子ども (考 える)     |
| 目 | ・元気でがんばる子ども (鍛 える)      |
| 標 | ・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる) |

※本たよりの本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

## いじめゼロ強化月間 ①

今年度も、5月は宇都宮市を挙げての「いじめゼロ強化月間」。本校でも、いじめをしない・させない、という意識を児童だけでなく教職員も高めるため、全校挙げて、イエローリボン運動（小さな黄色いリボンのシールを胸章に貼る運動）を展開しています。もちろん、シールを貼るというパフォーマンスだけでなく、学校ではいじめ防止に向けて次のような取組を行っています。

### ● 生活アンケート（年6回）の実施

本校では年間6回、一人一台端末を活用しながら生活や友達関係、いじめ等に関するアンケートを行っています。回答で気になる内容があった場合は、個別の教育相談、学年や校内の支援委員会等を通して、一人一人の困り感を共通理解し、適切な対応策を話し合い、対応するようにしています。

### ▲ 教育相談

学校生活に慣れてきた6月と夏休み明けの9月に、教育相談期間としてそれぞれ5日間行います。担任の先生方がすべての児童と面談し、学校生活や気持ちを聞いていきます。そのほかに、相談内容と相談したい先生の名前を記入して投函する「なんでも相談ポスト」を保健室前に設置し、いつでも児童の相談に応じることができるようにしています。

### ■ スクールカウンセラー（SC）との連携

スクールカウンセラーが定期的に来校しており、希望に応じて相談することが可能です。相談以外にも、児童の様子を専門的な視点から観察していただくなど、日常的に連携を図っています。

### ◆ ドリームタイム（縦割り班活動）

縦割り班での活動を充実させています。異年齢集団で活動することで、認め合ったり、折り合いを付けたりする体験を通して思いやりの心を育むことができます。「いじめをしない子どもを育てる！」取組として教育活動の中核に位置付け、共遊やもくもく清掃などの活動を行っています。

### ★ 学級自慢旬間

「自分たちのクラスをどんなクラスにしたいのか」を各クラスで話し合い、学級目標を作ります。そして、全校集会（朝会）で、自分たちの目指すクラスを発表します。児童自ら目標を立てることで、より良いクラスにしようという意識を醸成します。

### ◎ 教科担任制の取組

教科担任制がいじめの予防につながるのは、「多くの先生方の目で子供たちの様子を見ることが出来る」ということです。担任一人の見方ではなく、複数の先生で子供たちを多面的にみることで、子供たちの良い面もたくさん発見できるようになります。現在は高学年で行っていますが、心の変化も大きい時期ですので、複数の先生方がかかわることは大切だと考えています。

今回は、いじめ防止につながる本校の取組を紹介しましたが、児童同士や多くの先生方との交流の場を複数設け、思いやりや多様な個性を認め合うことを通して、いじめが起こりにくい雰囲気をつくり、伸び伸びと児童が安心して学べる環境となるよう職員一同協力していきたいです。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。（文責：校長）